# 春需要に向けた切花用ポット栽培における高品質・低コスト化技術の開発

【研究概要】

都内の切花生産は近年好調であり、特に春先に出荷する作型は、イベントや物日により高い需要が見込めるが、冬期の栽培期間の暖房コストが課題である。春に向けた品目に関しては適用可能な品目が少ないため、直売所需要に対応した切花用ポット栽培の品目を選定すると共に、暖房コストの削減技術を開発する。

直売所における消費者の特性および需要の高い切花品目を明らかにするため、民間の調査会社に委託してパネル調査を行った。対象は都内在住の20代以下と50代以上の女性5500人で、予備調査にて切花を直売所で購入した経験の有無等によりスクリーニングを行い、183名を対象に本調査を実施した。得られた回答を分析した結果、直売所で購入経験のある女性の割合は5,500人中286人（3.6%）と少なく、本調査での183名は価格を重視する傾向があること、直売所で３～５月に購入される切花のうち、ガーベラやカーネーション、チューリップなどの人気が高い品目であることが明らかとなった。